

第21回ワンちゃんのしつけ教室報告書

主催 NPO 法人湘南にドッグランを作る会
共催 (株) 湘南なぎさ事務所
協力 大島ドッグトレーニングスクール

今年はオリンピック/パラリンピック開催決定を受け、湘南海岸の魅力を広域にPRするために例年開催している湘南海岸公園祭りを拡大した「湘南なぎさフェスタ」として開催され、その中のイベントとして第21回ワンちゃんのしつけ教室を開催しました。

お天気に恵まれた1日、犬たちには少し暑くなり大変でしたが、事前申込み25頭19家族(内2家族、4頭欠席)、当日参加13頭13家族、合計30名(犬34頭)となり、ご家族での参加で70名を超える人数となり、生活に大切なしつけをワンちゃんと飼い主さんに楽しんで、学んで頂けました。

また、湘南海岸へのドッグラン設置要望のための署名も頂き、有り難うございました。

今回身につけて頂いた愛犬へのしつけや災害時の対応について公共の場所や日常生活に、また災害時に生かして頂ければと考えています。

また、お手伝いスタッフやボランティア参加の茅ヶ崎看護学校の生徒さんには活躍して頂き、大いに助かりました。

開催日時：2015年10月18日(日) 受付は9時30分から

10時～：ワンちゃんのしつけ教室

13時～：レスキュー犬のデモと災害時の犬への対応についてのレクチャー

開催場所：湘南海岸公園 多目的広場

訓練士：大島かおり訓練士、藤野訓練士、斉藤訓練士、加藤訓練士、馬場訓練士さんと生徒さん6名

犬：A太郎(ジャーマンシェパード) 咲(ボーダーコリー) ノン、うた(ゴールデン)

役員：大塚、大貫、高桑、寺田、東藤、中野、山田、遠藤、金子(9名)

お手伝いスタッフ：大貫パパ、松尾アレサママ

ボランティア：茅ヶ崎看護学校の皆さん 13名

◆ 8:30 役員、スタッフ集合 会場設営を全員で作業

機材搬入：山田

受付担当：高桑、大貫(事前受付)、大塚、松尾(当日受付)

受付名札：中野、植村、美久&碧&陸

会計：大塚、中野

写真撮影：大貫パパ、山田、東藤

当日案内チラシ貼り：松尾、中野

◆ 9:30 受付開始

事前申込み25頭19家族(4頭2家族欠席)、当日参加13頭13家族 合計30家族(犬34頭)

- ・参加についてのルール、アンケート用紙、ドッグウォークチラシを渡す
- ・受付後、入り口で参加者が名札(ガムテープ：♂ブルー、♀ピンクに飼い主名、犬名、犬年令記入)をつけるよう案内。担当は茅ヶ崎看護学校の生徒(古賀、大漣、岩崎さん他)
- ・署名のお願い、ドッグランを作る会入会のご案内、清掃ドッグウォークのお誘いチラシを用意

◆ 10:15 しつけ教室スタート 開始挨拶 金子 ミチ子

大島訓練士のご挨拶後 スタート

1. 服従訓練のデモンストレーション

斉藤訓練士&ゴA太郎君、加藤訓練士&咲ちゃんが頑張っていて活躍してくれました。

2. しつけ教室実践(大島訓練士、藤野訓練士、斉藤訓練士)

今回は各ワンちゃんの日頃しつけたいと思う問題点ごとに分けたクラスを分けて愛犬と参加

★ パピー&基本コース：斉藤訓練士

犬と人との上下関係の教え方

- ・人の中で生活するので服従を身につけることが大切
- ・犬の背中から抱っこしても嫌がらないように慣れるよう気長く服従をおしえる

手入れ（手足を拭く、爪切り、歯磨きなど）

- ・マズルコントロール（口をつかむ）をされること、口をあけたり触られることに慣れることが服従につながる（口は攻撃をする所でもあるので、コントロールすることは効果的）
- ・手を握ることを嫌がらないように日頃からさわって慣れるようにする。
- ・おやつが無くても人の手で体を触ってもらえることが嬉しいと思えることも信頼感が育つ。

トイレトレーニング

ハウストレーニング

オスワリとフセ、マテ、オイデの基本（服従）

- ・アイコンタクトがとれるようにする
- ・人の顔を見る、人の話を聞く→人は遊んでくれる、見ていてくれる人となる→犬は飼い主に注意を向けて信頼感を持ち、遊びの中で指示に従えば褒めてもらえて楽しい事となる。
- ・子犬の時は犬同士でも遊びを楽しむが、成犬になるとあまり遊ばなくなるが、人とは老犬になっても遊ぶので、小さいときから人が遊んであげることが信頼関係がうまれる。

★ お部屋での困った行動への対応：藤野訓練士

オスワリとフセ、マテ、オイデ、ハウスを応用する

- ・ながーい待て（お座りをさせて飼い主が犬の廻りを歩いてみる）

マテをして離れていても呼んでくれて、行くと楽しいことが有り褒めてもらえることも大切。

チャイム音の無駄吠え

- ・人の言葉に従うように、言葉を教えて指示通りにできれば褒める。

家の中を走り回る

留守番が出来ない

★ 外での困った行動への対応：大島訓練士

お散歩中に引っ張る、猫や他の犬または人に吠える

人に飛びつく

ドッグランなどでオイデ

- ・飼い主の側にいれば楽しいことがあると言える関係作りが大切。

ドッグカフェでのマナー

- ・お座り、待て、呼び戻し（短時間から長時間まで）近距離から少しずつ離れてみる
飼い主とのコミュニケーション作りは信頼感が育つ

3. ゲーム

飼い主と一緒に三角コーンをまわり、障害を乗り越える競争をし、寄付して頂いたおやつを参加賞としてプレゼントしました。

★ 集合写真を撮影

4. 質問タイム：訓練士の皆さんが対応

ゲーム終了後に質問タイムで皆さまのどうすれば？とのお悩みに答えて頂きましたが、終了後も訓練士さんのご好意で皆さんの質問に個別に対応して頂きました。

◆ 12:30 終了 昼食

◆ 昼食の間フライボールを用意（ODTS）楽しんで頂きました。

フライボール＝ステップを 犬が踏むとボールが飛び出し、そのボールをキャッチして遊べる

◆ 13:15 レスキュー犬のデモと災害時の犬への対応についてのレクチャー スタート

斉藤訓練士&ノンちゃんと加藤訓練士&うたちゃん（ゴールデンリトリバー2頭）のデモ

☆ 搜索訓練について

認知度が低いなか災害時の活動で、少しずつ広まって期待されるようになってきましたが、ドッグサーチについてはニーズが多くなっているが、民間レベルでの活動しかなく、皆さんに仕事のご理解をいただいて、ご支援をお願いしたい。

「搜索開始します！」の声かけをすると犬もお仕事に入ることを理解して活動します。大好きな人を捜したい、見つけると褒めてもらえ、ご褒美に遊んでくれる楽しいことと訓練を受けているので、大変な訓練と云うより楽しいことと捉えて活動している。

☆ レスキューのデモンストレーション

服従訓練が斉藤訓練士とノンちゃんと加藤訓練士とうたちゃんが格好良く見せてくれました。

- ・服従：リードなしで訓練士について一緒に歩く、歩いて止まると一緒に止まる。
- ・不安定な足場を平気で歩く訓練：指導者は安定した場所において、高いところや不安定な所を通過できるように指導
- ・暗い部屋、隙間など先の見えないトンネルを通過の訓練：通過途中で止まってしまうのは危険なため抜け出て、そこで止まって指示を待つことを指導
- ・遠隔操作：地震の続く中、二次災害を避けるため犬に方向を指示し搜索させる。
「前へ」「待て」「右へ」「左へ」「奥へ」の言葉で動いて「来い」で戻るように訓練。
犬も方向性をもって行動できるようになる。

☆ 模擬災害現場での体験参加

- ・倒壊家屋に見立てたテントの中に入れる
- ・ガレキと見立てた障害物を置いて足場の不安定な場所を歩けるか
- ・高いところを歩いて通過できるか
- ・クレート・トレーニング（犬舎に入り避難する訓練）をしておく、いざと言う時には犬も落ち着いて避難生活が送れるので、日頃から家庭内でゲージに馴れさせておく事が大切。

参加数と地域（30 家族）

藤沢市	参加	藤沢市	参加	他の地域	参加
鵜沼海岸	1	城南	1	鎌倉市	1
鵜沼松が岡	2	大庭	2	葉山町	1
辻堂西海岸	1	亀井野	4	横浜市	2
辻堂東海岸	1	高倉	1	秦野市	1
本藤沢	2	湘南台	1	海老名市	1
辻堂	1	西俣野	2		
辻堂元町	1	円行	2		
羽鳥	1	花の木	1		
計	10		14		6

参加者全員集合！



会場でお手伝い下さった方、チラシを貼らせて下さったりチラシを置いて下さった鵜沼商店街や近隣の店舗や動物病院など、またいつも応援・ご協力下さっているドッグランを作る会会員の皆さまお陰様で、たくさんの参加を頂き、ワンちゃんと共に楽しんで頂けました。

今後も当会の活動にご支援、ご協力をよろしく申し上げます。